

決算説明会

2022年3月期

2022年6月7日

株式会社 大真空 (証券コード : 6962)

代表取締役社長 飯塚 実

株式会社 **大真空**

2022年3月期 トピックス

・営業、経常、当期純利益 「過去最高益」

・通信/車載/民生/産業用 全ての分野にて
前期比「増収」

・フォトリソへの投資を加速

・増配9.5円 (8.75円 → 18.25円)

2022年3月期 通期実績

全ての利益において過去最高益

単位：百万円

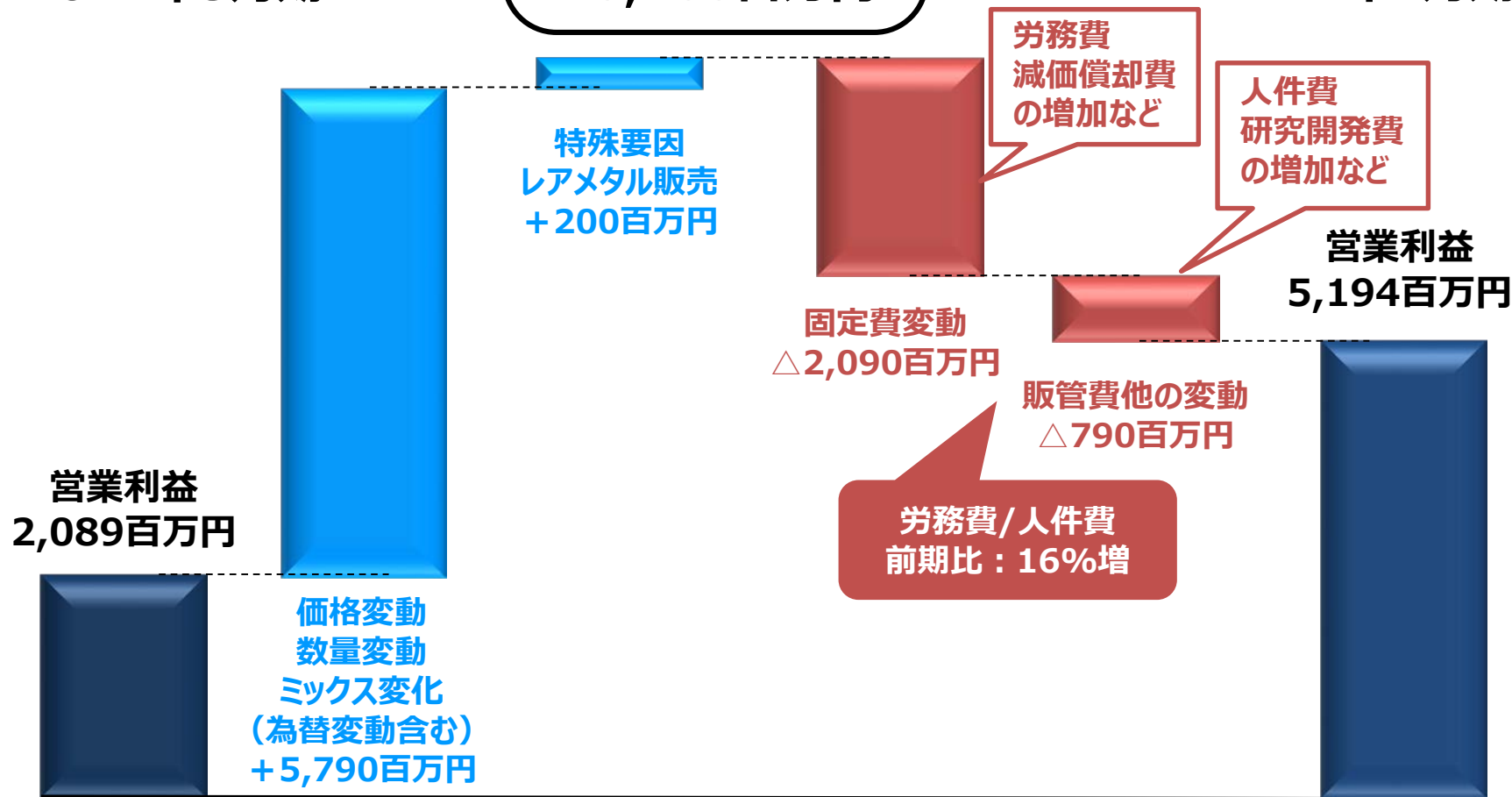
	2021年3月期	2022年3月期	増減	前期比	増減率
売上高	33,189	41,306	+8,116	↑	+24.5%
営業利益	2,089	5,194	+3,105	↑	+148.7%
経常利益	2,533	6,547	+4,014	↑	+158.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,223	3,848	+2,624	↑	+214.6%
USD平均レート（円）	106.10	112.39	+6.29	↑	-

営業利益 増減分析(前期比)

2021年3月期

+3,105百万円

2022年3月期

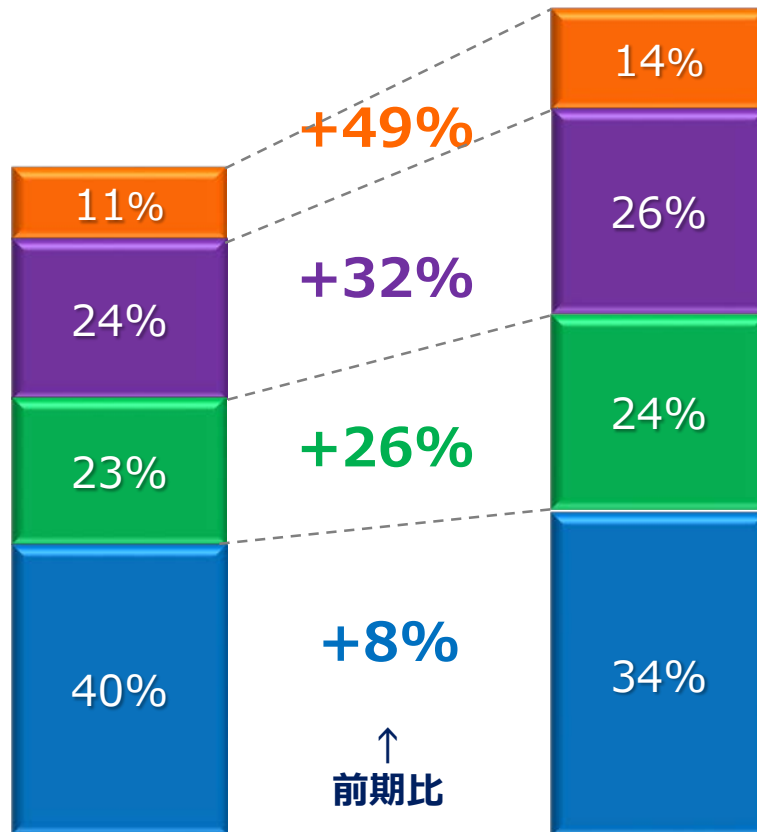


用途別販売実績

新型コロナウイルスによる世界経済混乱からの回復により、
全市場で前期を上回る売上となった

2021年3月期
売上高331億円

2022年3月期
売上高409億円 ※レアメタル販売除く



産業	国内と欧州を中心に産業機器メーカー向け製品が好調を維持
民生	テレワーク需要によりPC周辺機器が好調に推移
車載	新型コロナ以降自動車生産の回復と員数増加に伴い需要が大幅に増加
通信	5G対応スマホの拡大などにより高付加価値品の販売が増加

四半期実績

単位：百万円

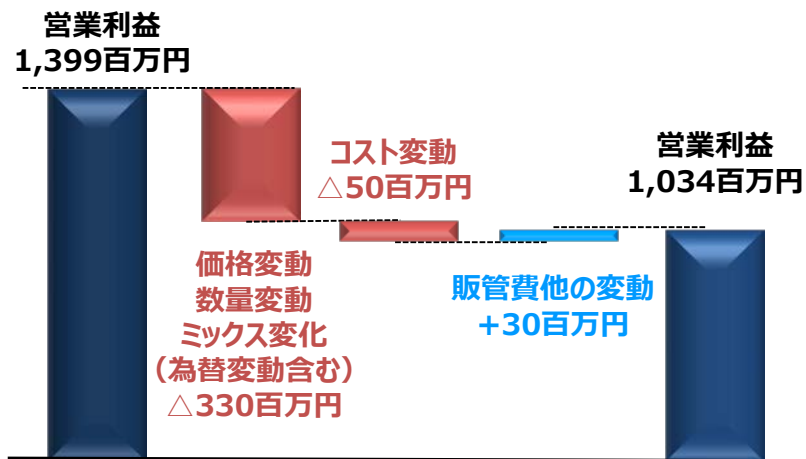
2022年3月期

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	直前四半期比 増減
売上高	10,507	10,927	10,235	9,637	△598
営業利益	1,137	※1,625	1,399	1,034	△364
経常利益	1,234	※1,808	1,767	1,738	△29
親会社株主に帰属する 四半期純利益	740	※1,033	740	1,335	+595

※特殊要因200百万円の利益含む(レアメタル販売)

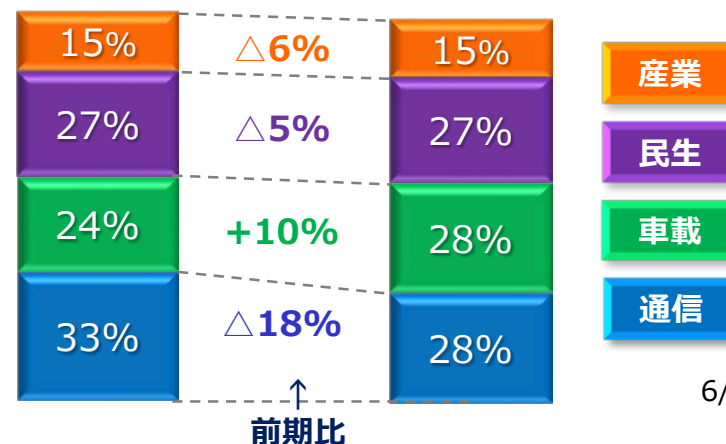
営業利益 増減分析 (前四半期比)

2021年10-12月 $\Delta 364$ 百万円 \rightarrow 2022年1-3月



春節などの季節要因に加え、半導体不足の影響や中華圏の新型コロナウイルス感染再拡大により 顧客（及び当社）の生産に影響

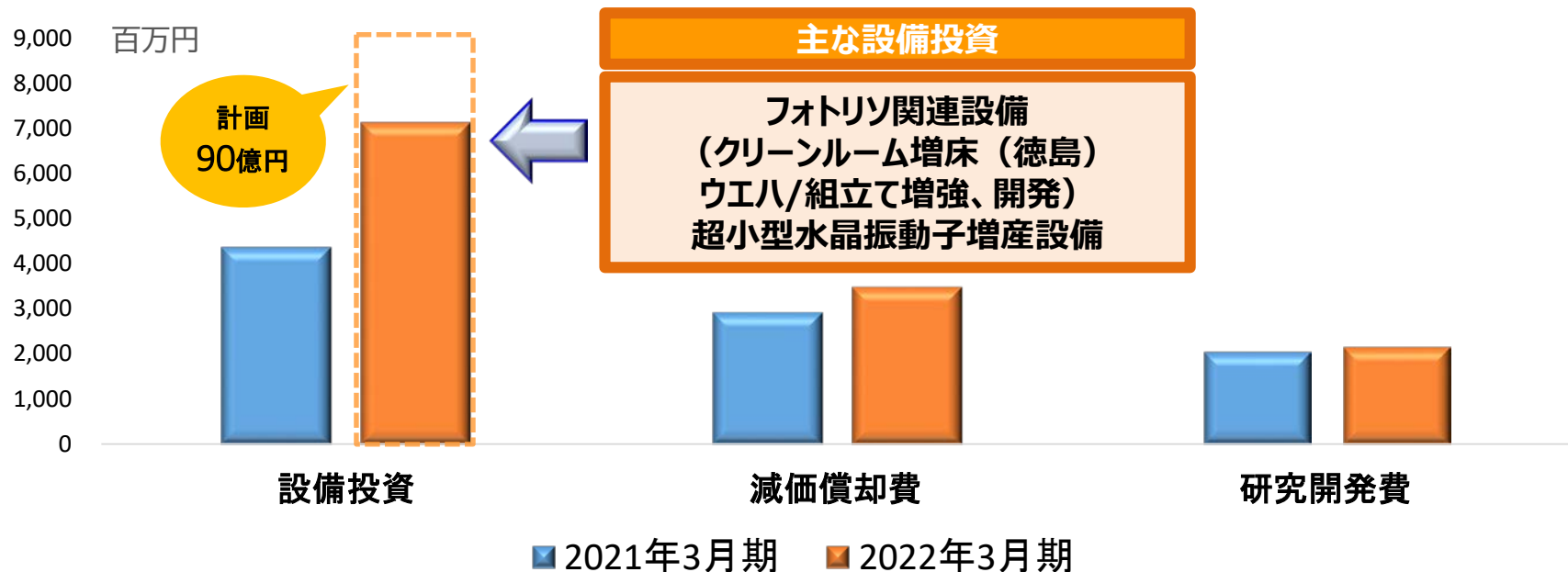
2021年 10-12月 売上高102億円
2022年 1-3月 売上高96億円



設備投資／減価償却費／研究開発費

単位：百万円

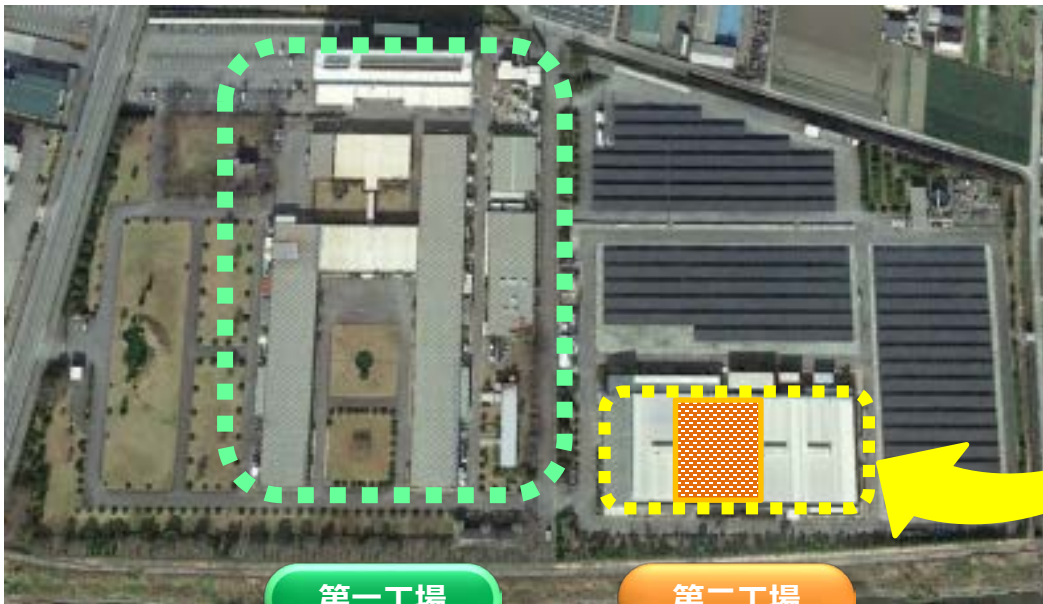
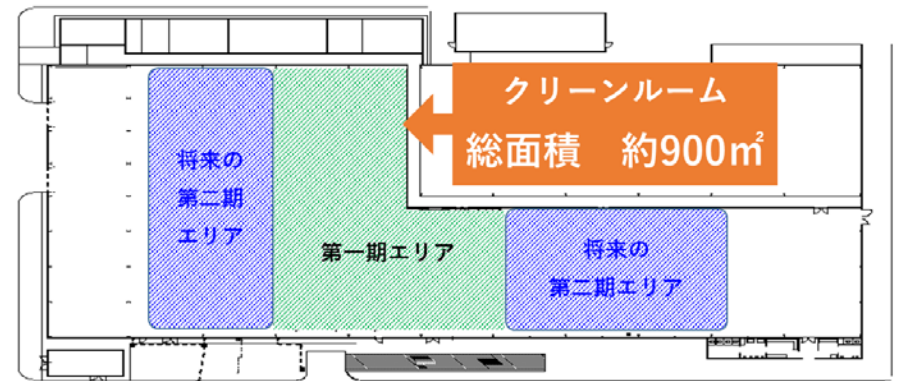
	2021年3月期	2022年3月期	増減
設備投資	4,355	7,116	+2,761
減価償却費	2,921	3,494	+573
研究開発費	2,048	2,171	+123



フトリソ工程用クリーンルームの完成 (徳島事業所)

2022年6月稼働

鳥取事業所との2拠点体制
となりBCPにも対応

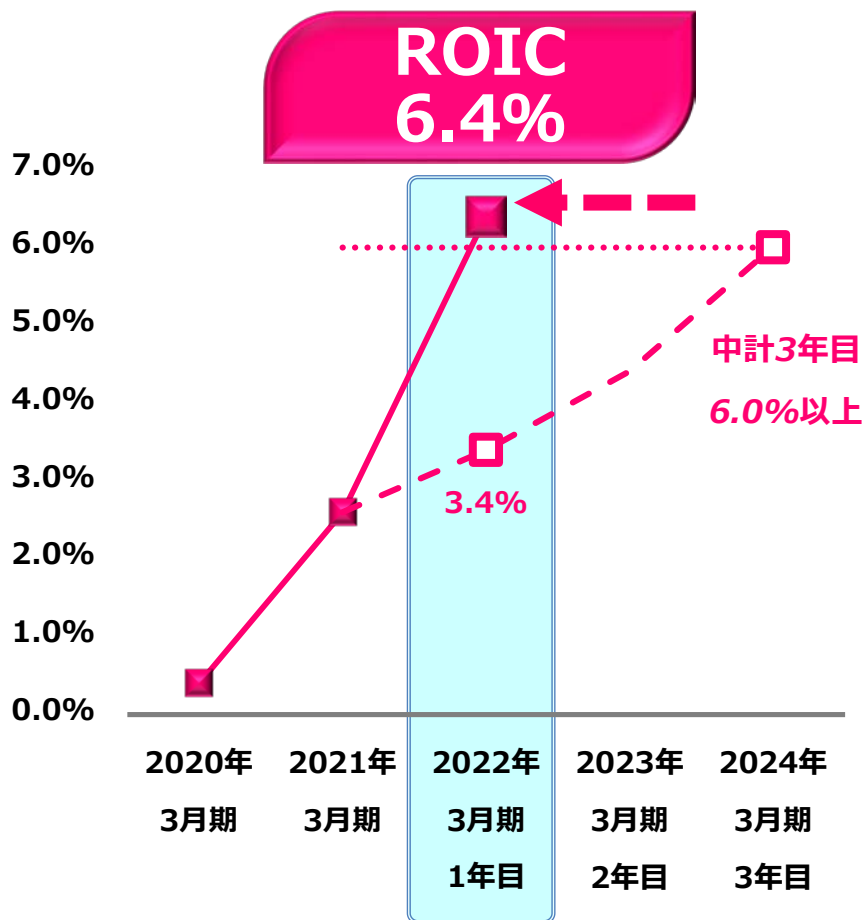
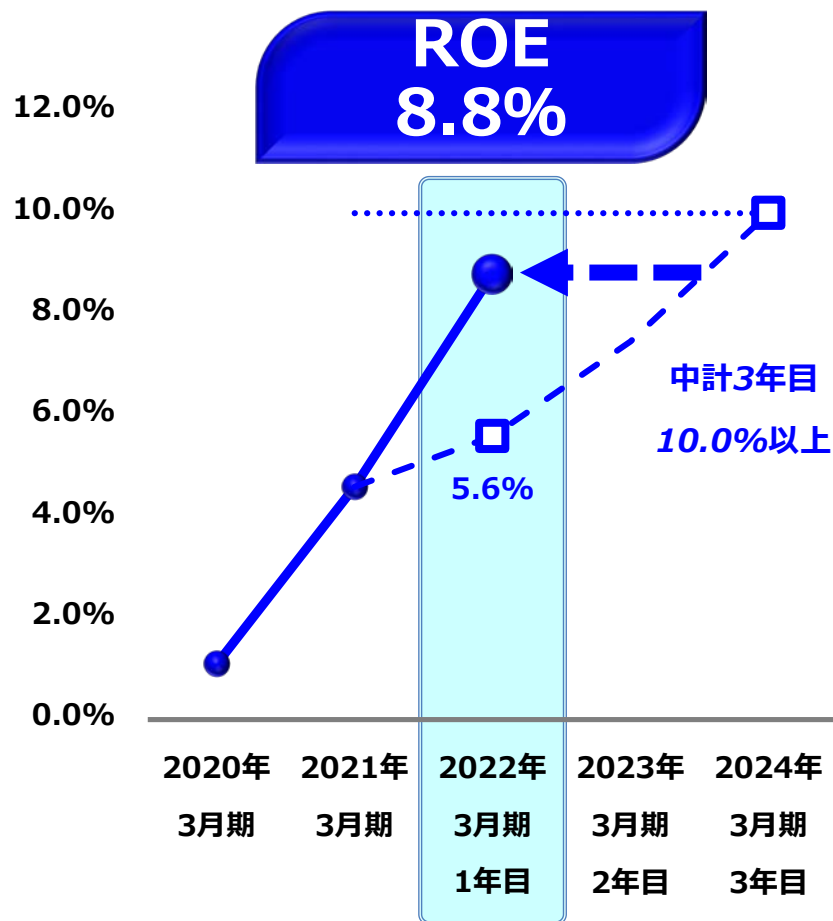


第一工場

第二工場

経営指標 ROE/ROIC

2022年3月期(中計1年目)



※2022年3月期の実績はレアメタル販売と為替差益の影響を除く
 (参考) レアメタル販売と為替差益の影響を含んだROEは12.6%、ROICは6.6%

通期業績予想

最高益連続更新

単位：百万円

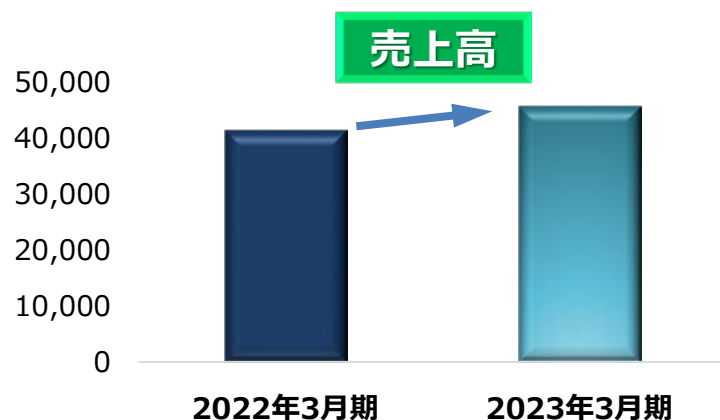
	2022年3月期	2023年3月期	増減	増減率
売上高	41,306	45,600	+4,294	+10.4%
営業利益	5,194	6,000	+806	+15.5%
経常利益	6,547	5,800	△747	△11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,848	3,900	+52	+1.3%
R O E ※	8.8%	11.3%	+2.5ポイント	-
R O I C	6.4%	6.6%	+0.2ポイント	-

USD 平均レート

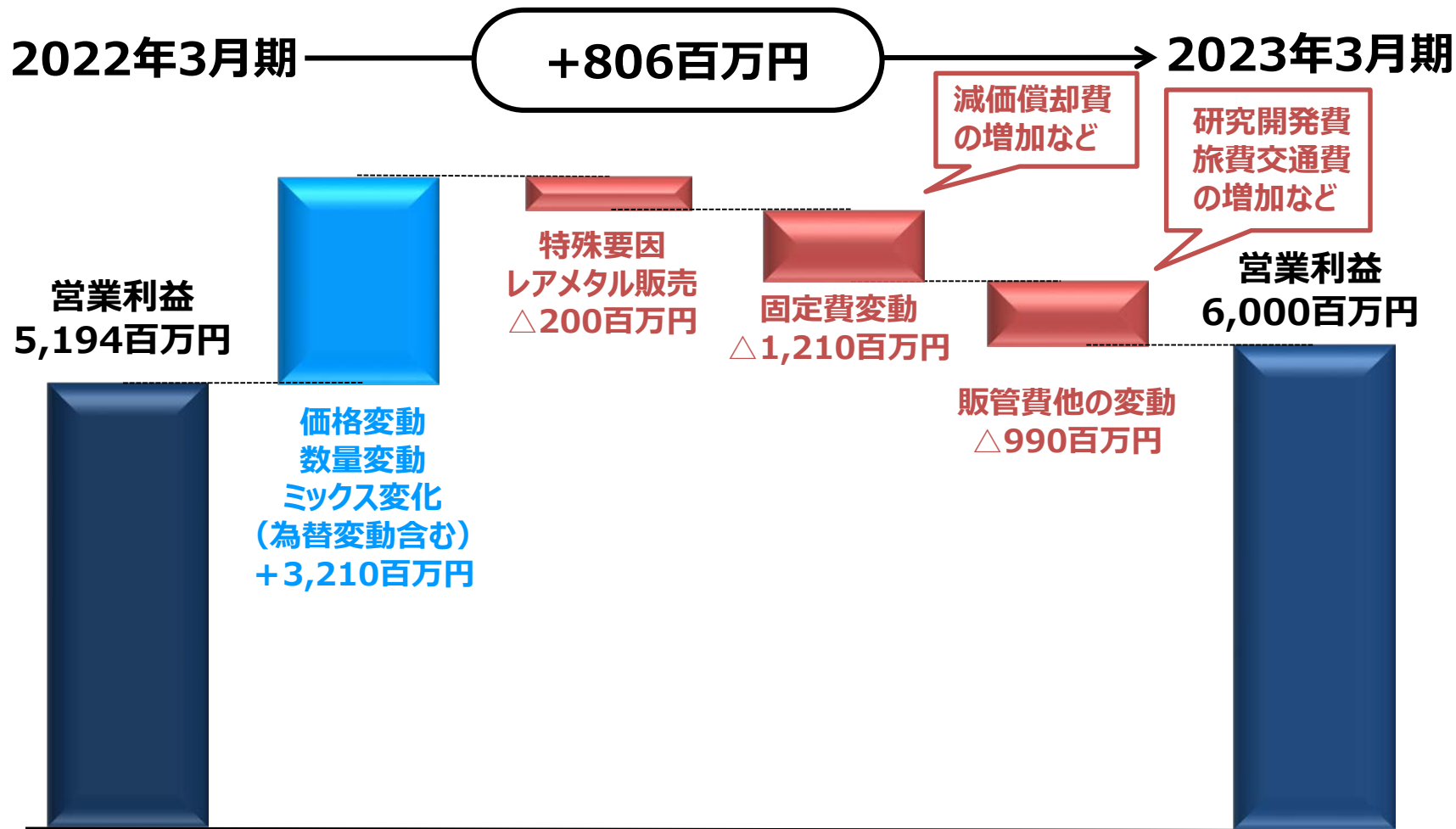
112.39円

120.00円

※為替差益の影響を除く



営業利益 増減分析(通期予想)



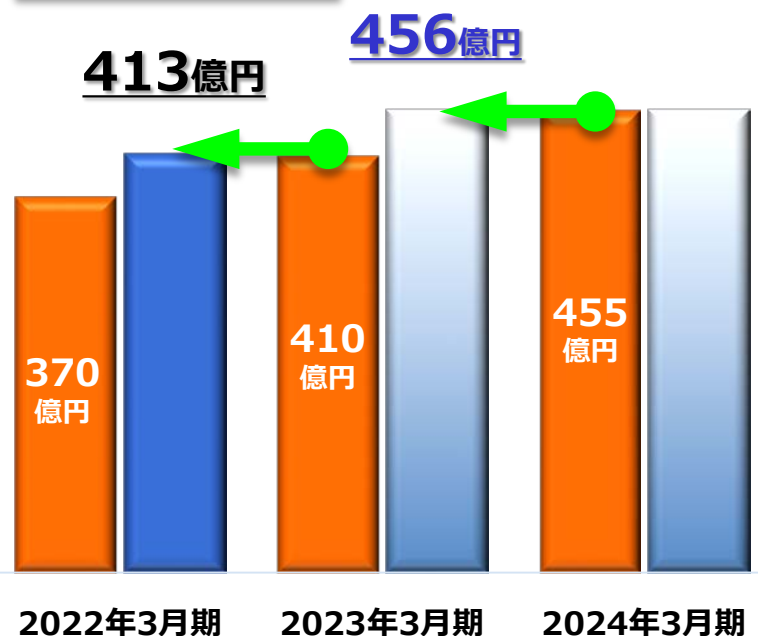
第1中期経営計画を繰上げ遂行中

※中期計画：2021年当社制定

売上高

2023年3月期の
計画値に到達

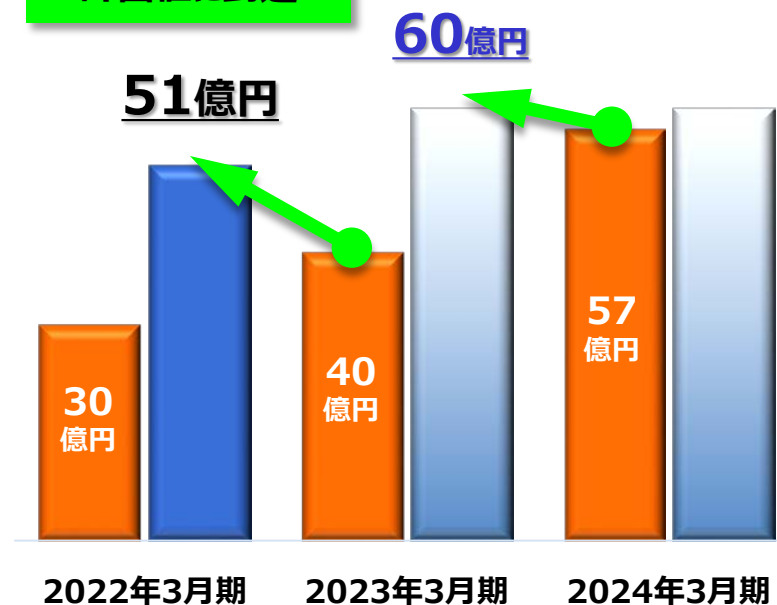
■ 中期計画値
■ 実績/目標値



営業利益

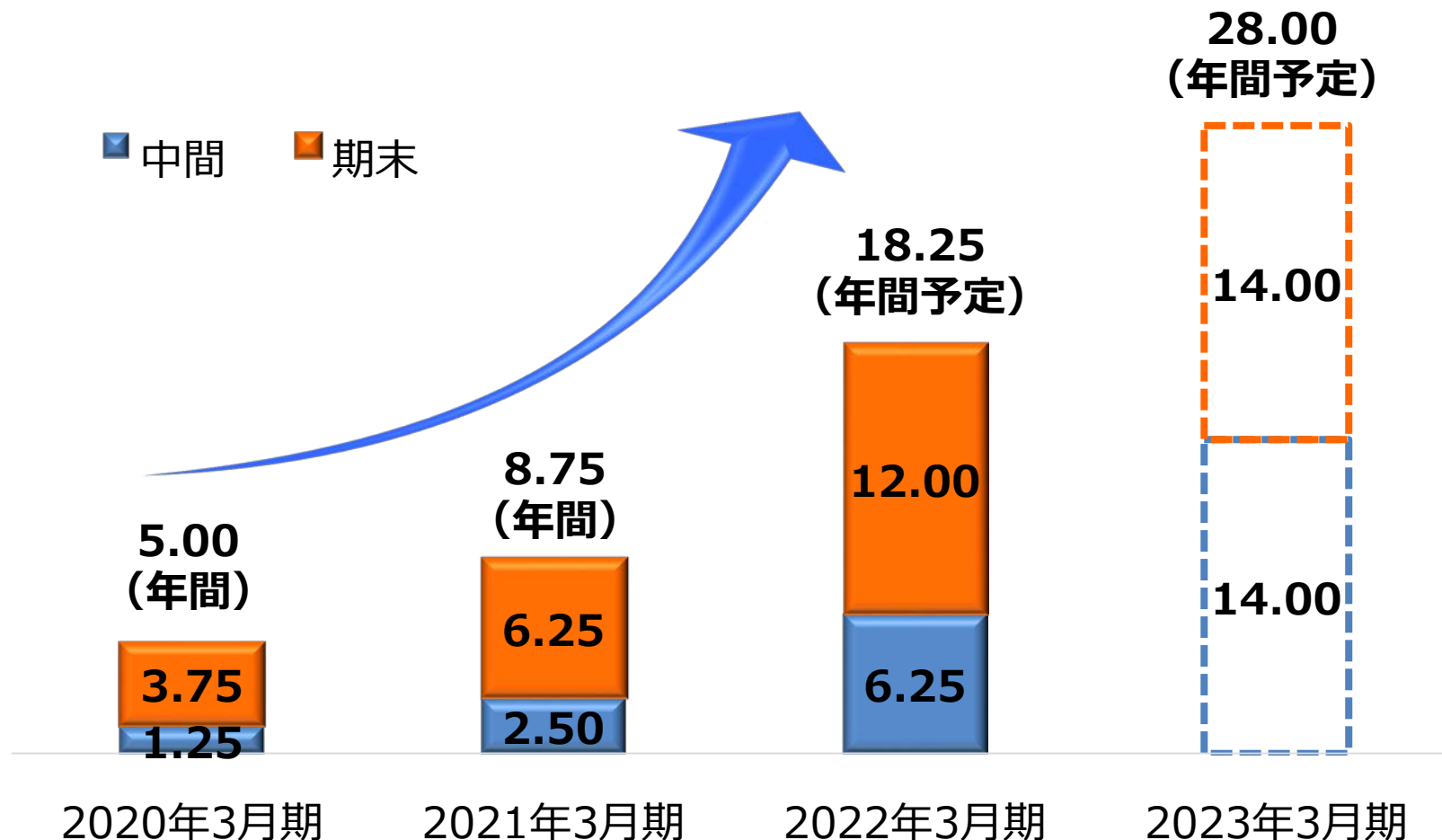
2023年3月期の
計画値に到達

■ 中期計画値
■ 実績/目標値



配当金推移

単位：円



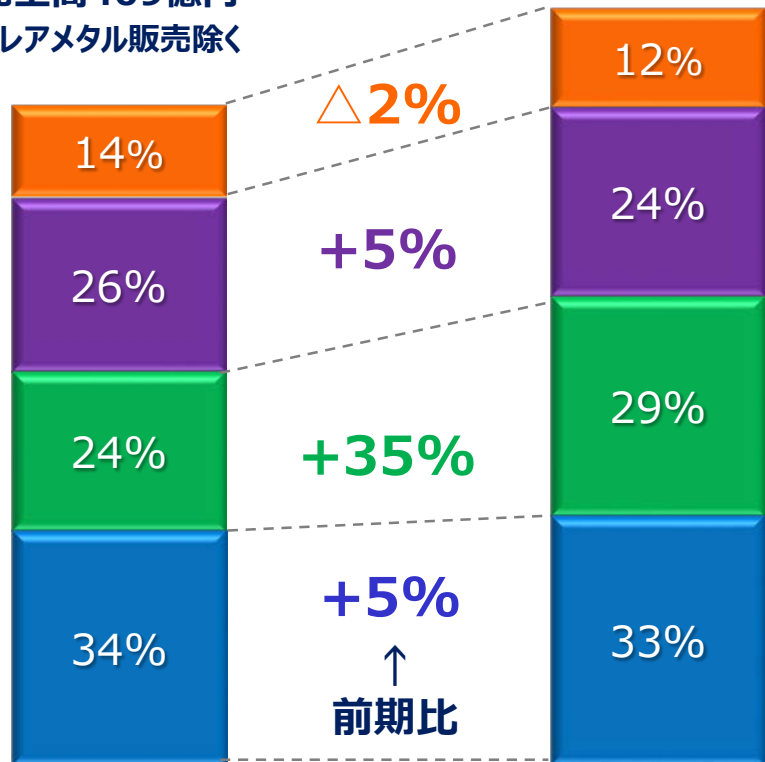
※当社は2021年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っておりますが、2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり年間配当金を算定しております。

2023年3月期用途別販売計画

新型コロナウイルスの感染再拡大によるロックダウンやFRBの利上げの影響による中華圏の景気悪化。また、ウクライナ情勢によるエネルギー高騰の影響など不透明な状況が継続するも市場は拡大基調

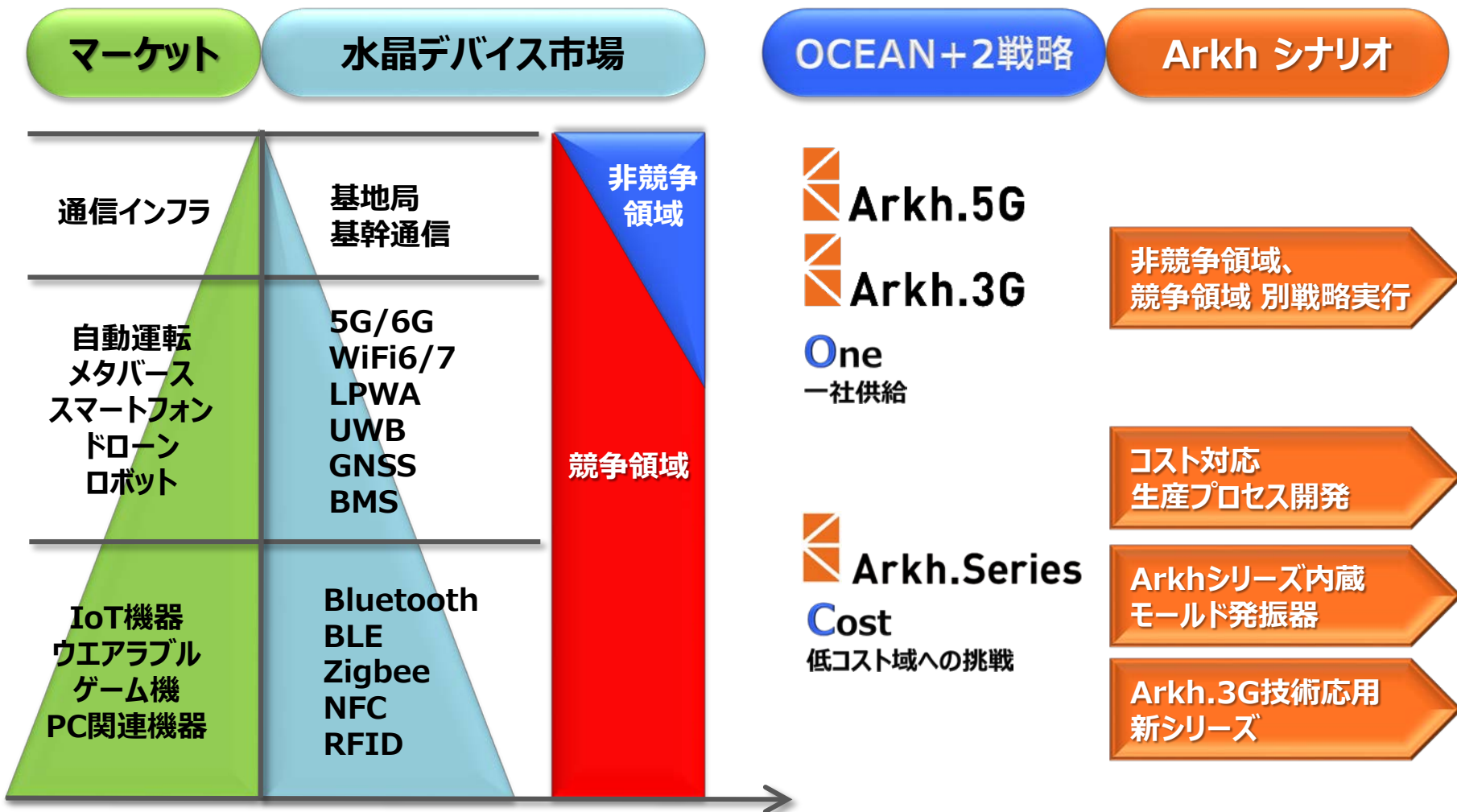
2022年3月期
売上高409億円
※レアメタル販売除く

2023年3月期
売上高456億円

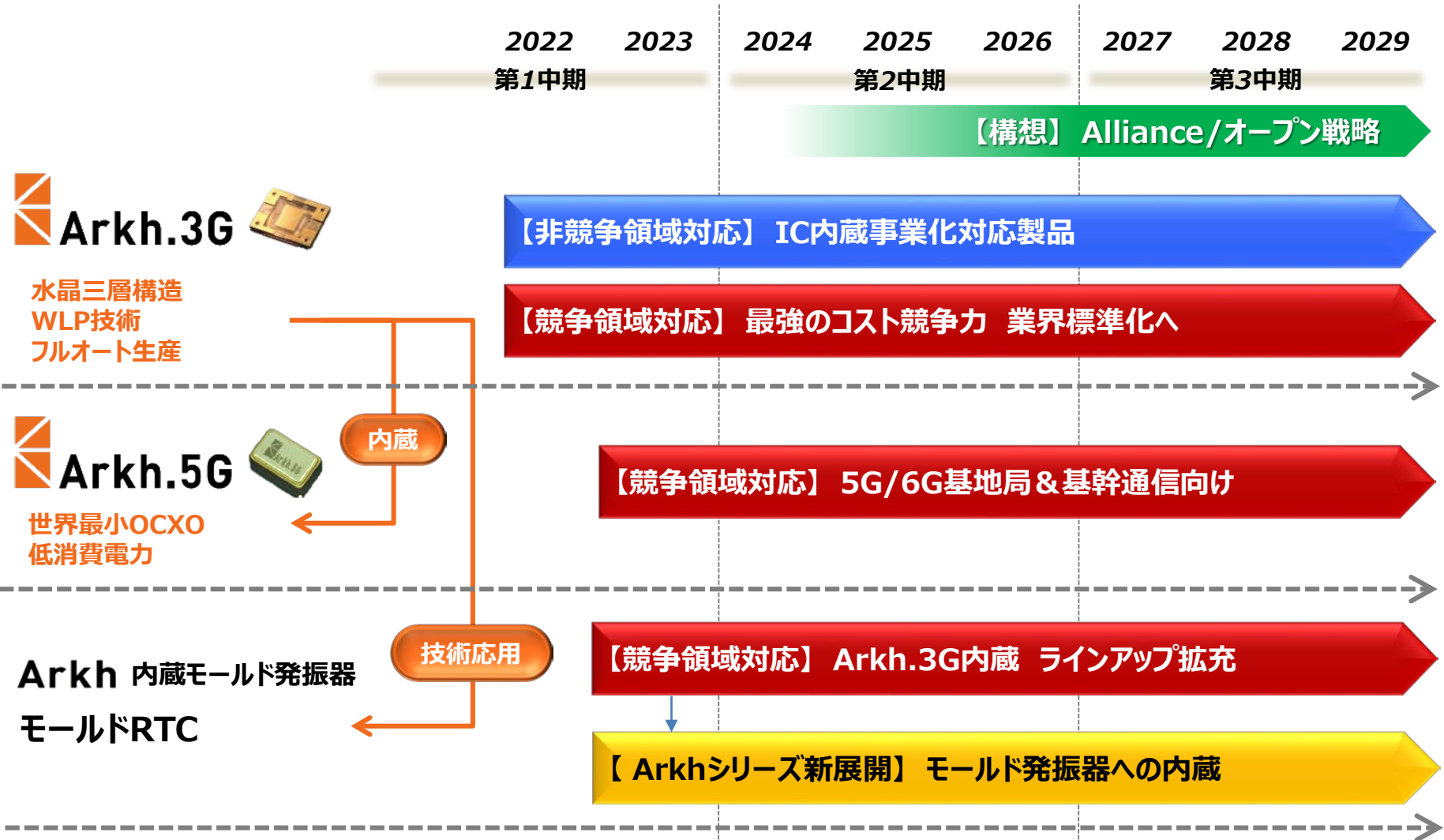


産業	半導体製造装置、EV用電池製造装置、再生エネルギー向けなど好調を維持。血糖値計なども期待
民生	ホームエンターテイメント系への拡販VR/AR向けメタバース市場拡大による伸びを期待
車載	引き続き受注は堅調であり、前期から準備を進めてきた生産能力の増強が寄与
通信	コロナの感染再拡大やウクライナ情勢の影響により中国や欧州でスマホの販売が不振

Ark Seriesの本格拡大



Ark Seriesの長期構想

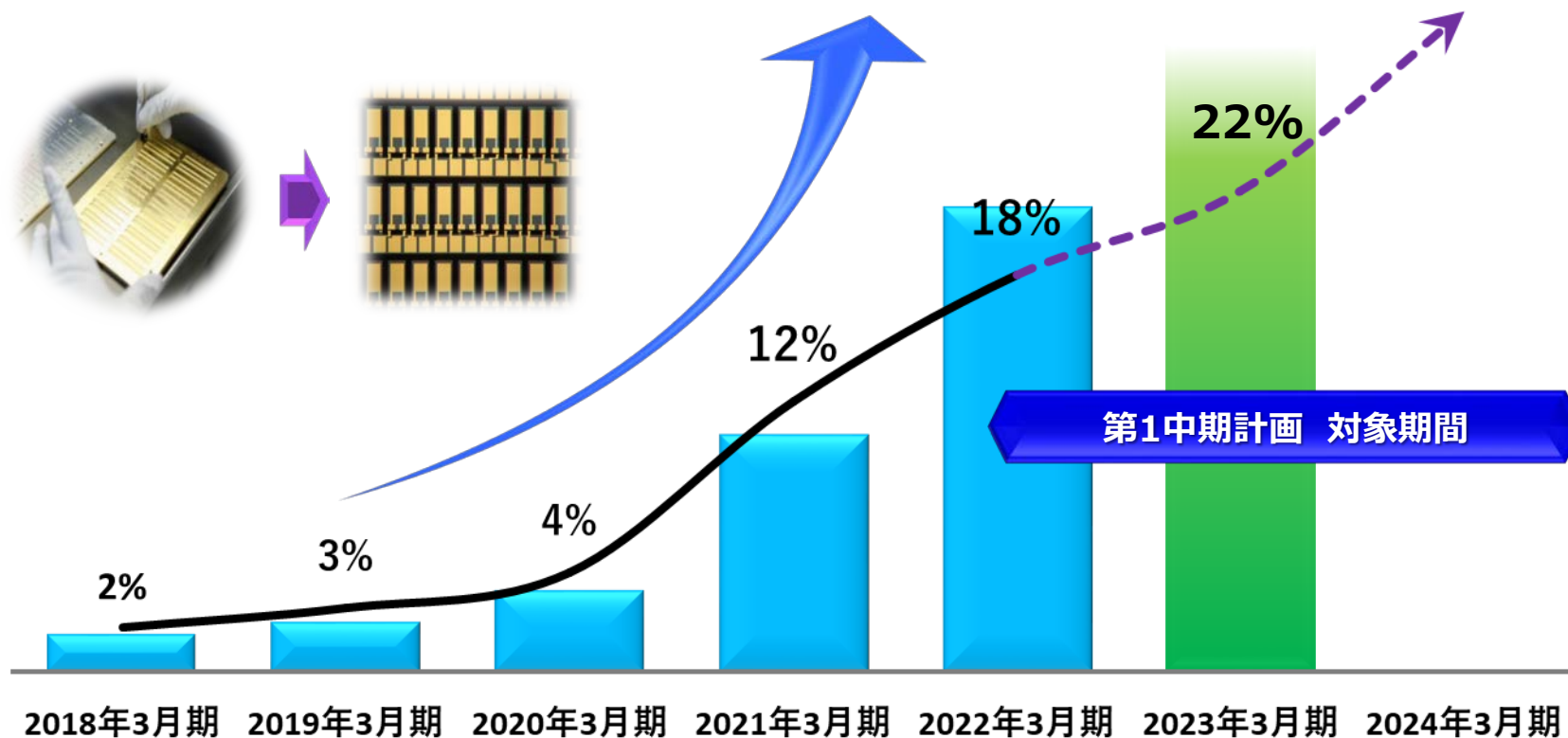


フトリソ製品売上高比率

5G/Wi-Fi/ADAS/時計機能 などの
高周波、低消費電力要求に対応

中計3年目

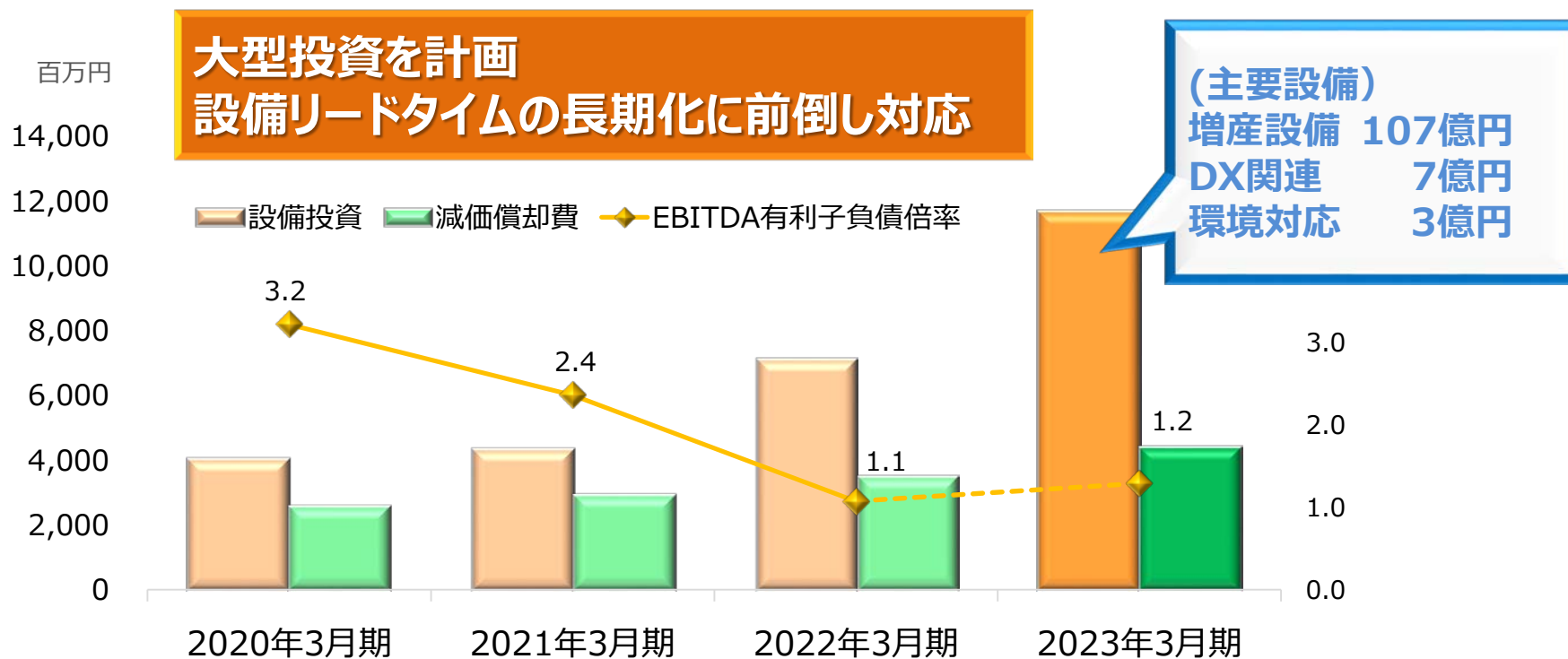
30%以上



設備投資計画

単位：百万円

	2022年3月期	2023年3月期想定	増減
設備投資	7,116	11,700	+4,584
減価償却費	3,494	4,400	+906
研究開発費	2,171	2,500	+329



持続的成長に 向けたチャレンジ



サステイナブル経営

持続的な成長

安定供給

環境対応

開発品アプローチ



Ark Series

Ark Series

外部調達比率0%
世界最小・最薄

IC内蔵化／モールド化／業界標準化

単位面積あたりの**Out-put 7倍**の
完全フルオート生産への**チャレンジ**

既存品アプローチ

フレキシブル&フルオート

生産設備改革により単位面積あたり

Out-put 5倍への**チャレンジ**

能力**2.5倍** × 面積**1/2倍**

KDSのチャレンジ

コアテクノロジー

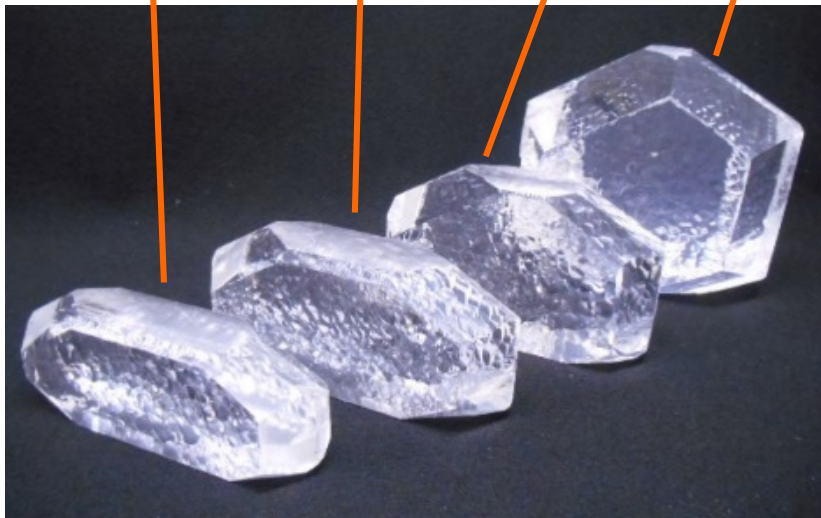
フォトリソウエハの大判化 **6 inch / 8 inch**

最重要コア技術

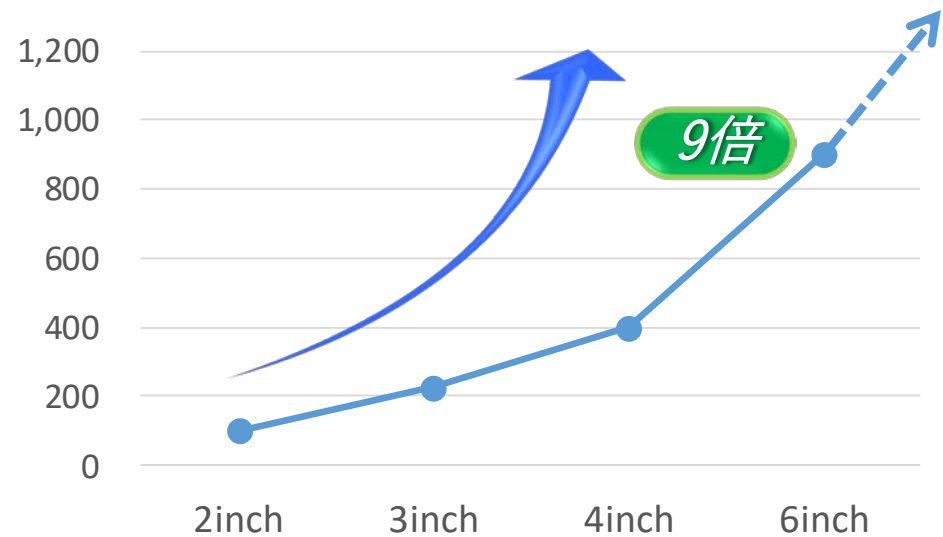
成長エンジンはウエハの大判化

原石大型化の変遷

2インチ 3インチ 4インチ 6インチ



ウエハサイズとチップの取れ数



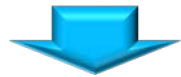
※2inchウエハの取れ数を100とした場合

6インチ用原石 量産初回ロット引き上げ (6月下旬予定)

環境対応【人工水晶の育成】

育成条件による省エネルギー化

水晶原石の育成において
原価の約70%は電気代が占有



育成炉の省エネ化（断熱材の補強等）で20%減



さらに

育成日数を 150日 → 100日で 33%減



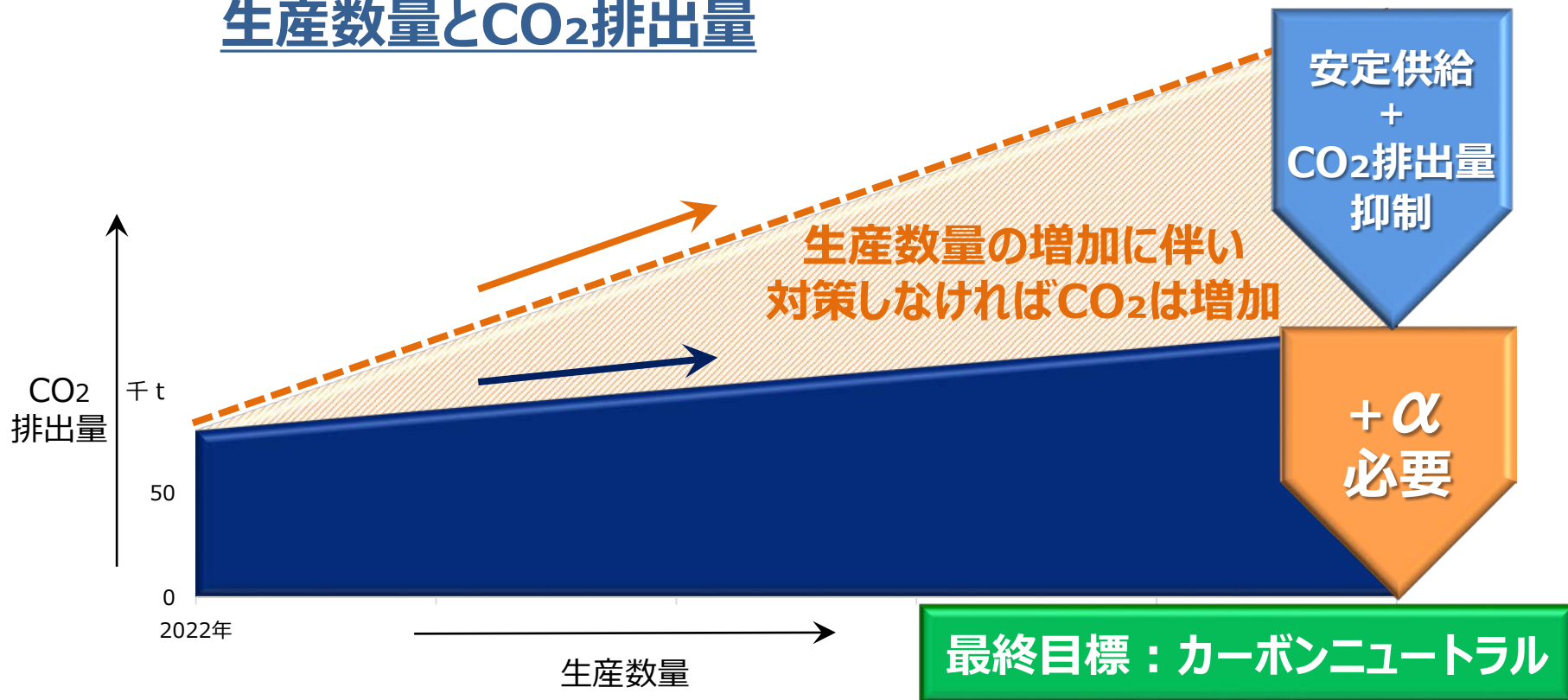
エネルギー消費 **50%**減
設備能力（育成炉）1.5倍



安定供給 + 環境対応

CO₂排出抑制～カーボンニュートラルに向かって

生産数量とCO₂排出量



カーボンニュートラルに向かって

+α のチャレンジ

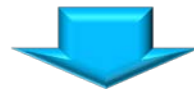
<始まり>

OCEAN+2戦略

「新たな結晶」の開発過程

水晶育成時の廃液よりゼオライトを生成

※ゼオライト：CO₂吸収材



生成量は多くない

⇒プラント規模ではなく

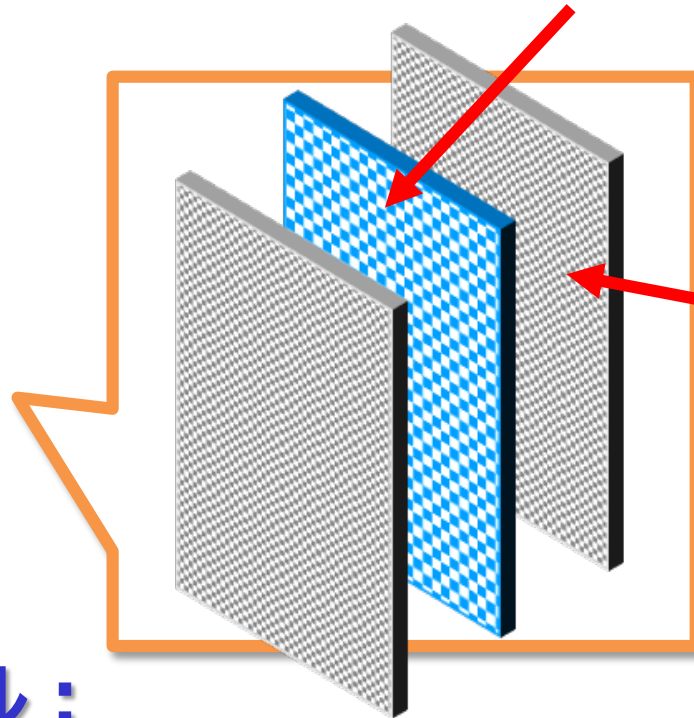
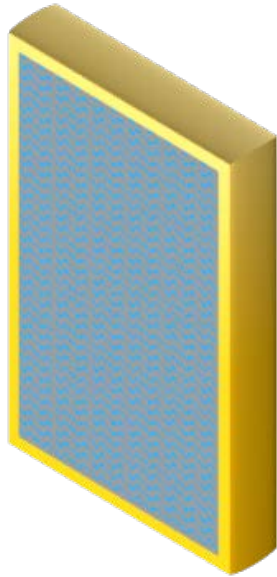
小型モジュールという発想へ

CO₂回収

まず捕まえる

アミンモジュール

アミン : CO₂吸収材

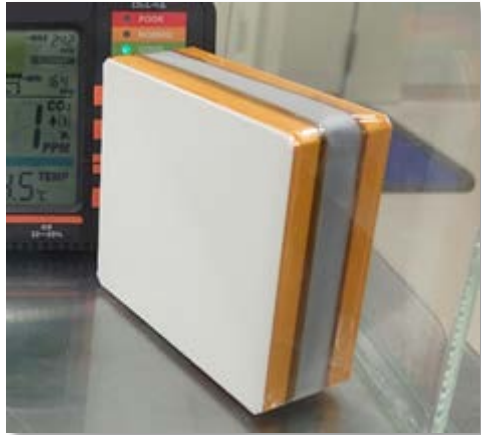


アミンモジュール :
フィルタ + アミン

フィルタ :
セラミックス + ゼオライト膜

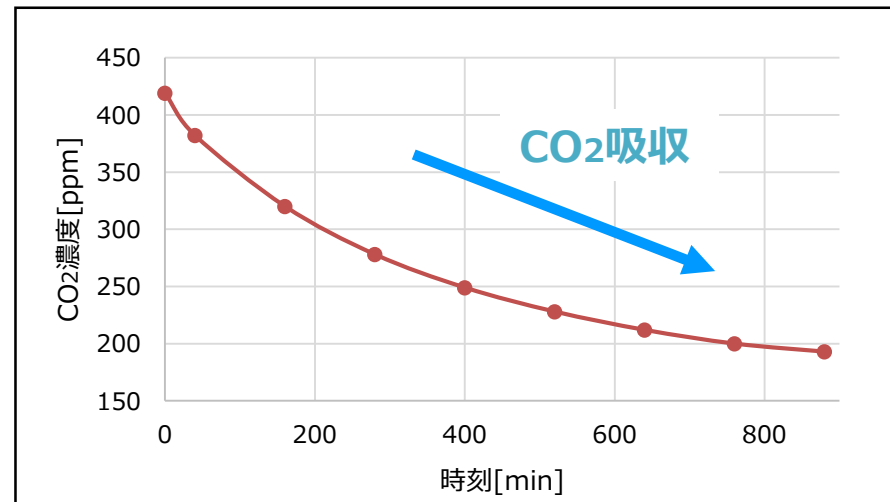
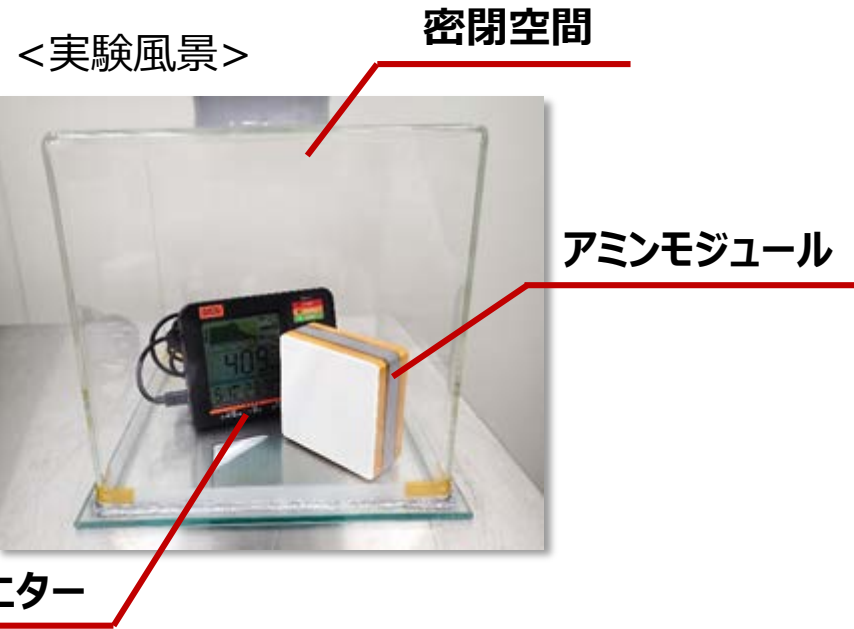
※ ゼオライト膜 : CO₂は通すがアミンは通さない

アミンモジュール



アミンモジュール
プロトタイプ

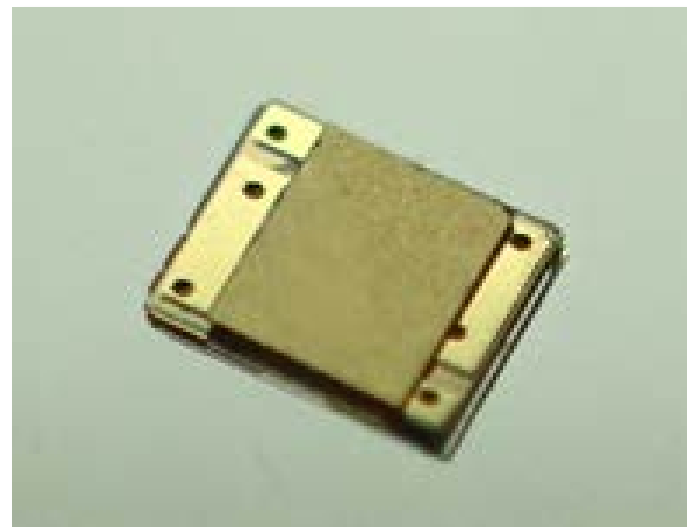
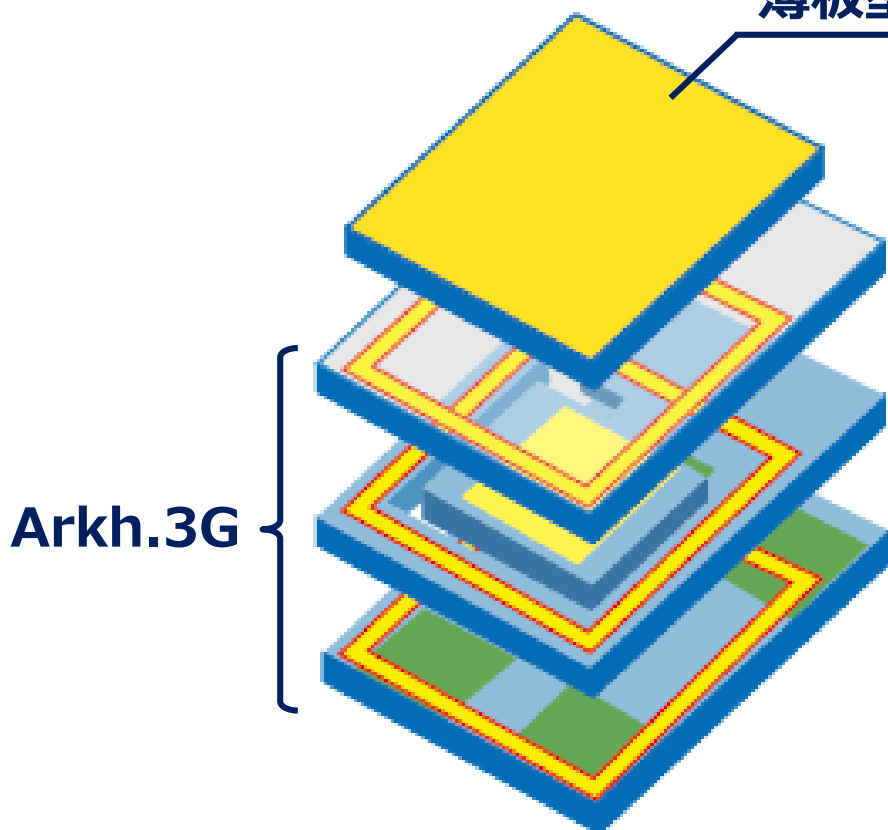
アミンモジュールの
プロトタイプにより
密閉空間における
CO₂吸収を確認



薄板型サーミスタ搭載Ark.3G

IC内蔵による温度補正の精度向上

薄板型サーミスタ（自社製）

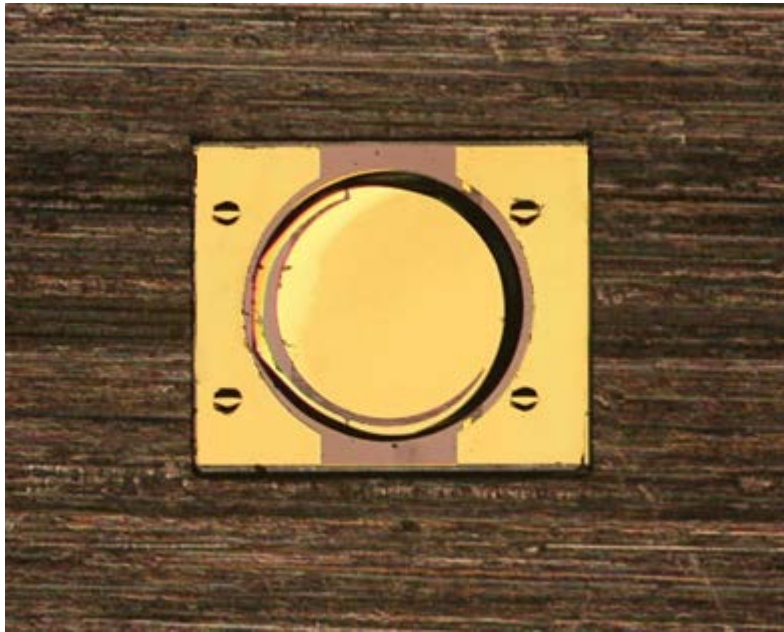


外部調達比率 0%

構造図

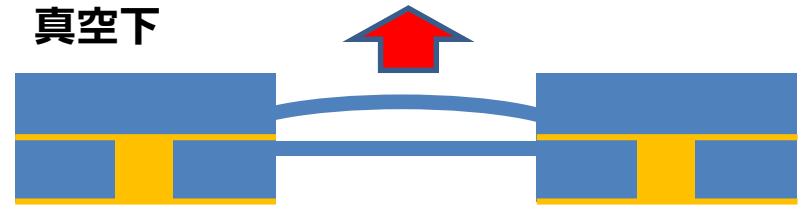
新たな取り組み <圧力スイッチ>

試作品

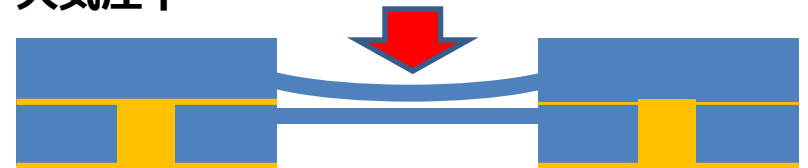


1.2×1.0 t=0.08mm

真空下



大気圧下



気密不良を気圧差で認識し、
電氣的なON/OFFで判定できるデバイス

OCEAN+2

戦略

企業理念

「社会の期待に信頼でお応えする」